

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成27年3月26日(2015.3.26)

【公開番号】特開2014-133112(P2014-133112A)

【公開日】平成26年7月24日(2014.7.24)

【年通号数】公開・登録公報2014-039

【出願番号】特願2013-257276(P2013-257276)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 1 C

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成27年2月6日(2015.2.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技媒体を循環させる循環経路を有し、所定の得点を用いて遊技が行なわれる封入式遊技機と、前記封入式遊技機と通信可能に接続され、記録媒体を受け付け可能であるとともに当該記録媒体の記録情報により特定される遊技者所有の遊技用価値を用いて前記封入式遊技機での遊技を可能にするための遊技用装置と、前記得点を表示する表示手段とを含む遊技用システムであって、

前記封入式遊技機は、

前記得点を記憶する得点記憶手段と、

遊技状況に応じて前記得点を更新する得点更新手段と、

前記得点更新手段による前記得点の変化量を特定する特定手段と、

前記変化量を特定可能な更新情報を、当該更新情報の到達確認をするために所定の更新パターンに従って更新される到達確認情報とともに前記遊技用装置へ送信する更新情報送信手段と、

前記封入式遊技機と前記遊技用装置との間での通信ができない通信不能状態から復旧したときに、前記得点の補正情報と、前記通信不能状態になる前の最終通信の際の前記到達確認情報とを前記遊技用装置へ送信する補正情報送信手段とを含み、

前記遊技用装置は、

前記更新情報を受信する更新情報受信手段と、

前記表示手段を制御し、前記更新情報に基づいて前記得点の表示を更新する表示制御手段と、

前記補正情報送信手段から送信されてきた前記補正情報および前記到達確認情報を受信する補正情報受信手段と、

前記通信不能状態から復旧した後に前記補正情報送信手段から送信されてきた前記補正情報および前記到達確認情報に基づいて前記表示手段に表示すべき得点を補正する得点補正手段とを含み、

前記表示制御手段は、前記通信不能状態から復旧した後、前記得点補正手段による補正後の得点を前記表示手段に表示し、

前記遊技用装置は、前記記録媒体に記憶されている識別情報をおよび前記記録媒体を受け

付けた時刻を特定する時刻情報を記憶するとともに前記封入式遊技機に送信し、

前記封入式遊技機が、受信した識別情報を記憶し、

前記補正情報送信手段は、前記通信不能状態から復旧したときに、前記封入式遊技機に記憶されている識別情報を記憶し、

前記得点補正手段は、前記補正情報送信手段から送信された識別情報および時刻情報を記憶している識別情報を前記補正情報受信手段に送信し、

前記得点補正手段は、前記補正情報送信手段から送信された識別情報および時刻情報を記憶している識別情報を前記表示手段に表示するときに、前記表示手段に表示すべき得点を補正する、遊技用システム。

【請求項 2】

遊技媒体を循環させる循環経路を有し、所定の得点を用いて遊技が行なわれる封入式遊技機と通信可能に接続され、記録媒体を受け付け可能であるとともに当該記録媒体の記録情報により特定される遊技者所有の遊技用価値を用いて前記封入式遊技機での遊技を可能にするための遊技用装置であって、

前記得点の変化量を特定可能な更新情報を、当該更新情報の到達確認をするために所定の更新パターンに従って更新される到達確認情報を記憶するとともに前記封入式遊技機から受信する更新情報受信手段と、

表示手段を制御し、前記更新情報に基づいて前記得点の表示を更新する表示制御手段と、

前記封入式遊技機と前記遊技用装置との間での通信ができない通信不能状態から復旧したときに、前記得点の補正情報を記憶するとともに前記通信不能状態になる前の最終通信の際の前記到達確認情報を記憶するとともに前記封入式遊技機から受信する補正情報受信手段と、

前記通信不能状態から復旧した後に前記封入式遊技機から送信されてきた前記補正情報を記憶するとともに前記表示手段に表示すべき得点を補正する得点補正手段とを含み、

前記表示制御手段は、前記通信不能状態から復旧した後、前記得点補正手段による補正後の得点を前記表示手段に表示し、

前記記録媒体に記憶されている識別情報を記憶するとともに前記封入式遊技機に記憶させるために送信し、

前記補正情報受信手段は、前記通信不能状態から復旧したときに、前記封入式遊技機に記憶されている識別情報を記憶するとともに前記遊技用装置に受信して、

前記得点補正手段は、前記補正情報受信手段で受信された識別情報を記憶するとともに前記通信不能状態から復旧したときに、前記封入式遊技機に記憶する得点を補正する、遊技用装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

(1) 本発明は、遊技媒体を循環させる循環経路を有し、所定の得点（遊技玉、遊技点）を用いて遊技が行なわれる封入式遊技機（パチンコ機2、スロットマシン2S）と、前記封入式遊技機と通信可能に接続され、記録媒体を受け付け可能であるとともに当該記録媒体の記録情報により特定される遊技者所有の遊技用価値（プリペイド残高、持玉数、あるいは貯玉数）を用いて前記封入式遊技機での遊技を可能にするための遊技用装置（カードユニット3）と、前記得点を表示する表示手段（表示器54, 312, 510）とを含む遊技用システムであって、

前記封入式遊技機は、

前記得点を記憶する得点記憶手段（図8の遊技玉数カウンタ、図151の遊技点数カウンタ）と、

遊技状況に応じて前記得点を更新する得点更新手段（図45：加算玉数と減算玉数との基づいて遊技玉数を算出する払出手動部171、図38、図39：CUからの加算玉数

に基づいて遊技玉数を加算する払出制御部 171) と、

前記得点更新手段による前記得点の変化量 (加算玉数、減算玉数) を特定する特定手段 (遊技機制御用のマイクロコンピュータ、加算玉数カウンタ、減算玉数カウンタ、加算数カウンタ、減算数カウンタ) と、

前記変化量を特定可能な更新情報を、当該更新情報の到達確認をするために所定の更新パターンに従って更新される到達確認情報 (通番) とともに前記遊技用装置へ送信する更新情報送信手段 (払出制御部 171) と、

前記 封入式 遊技機と前記遊技用装置との間での通信ができない通信不能状態から復旧したときに、前記得点の補正情報 (図 51 : 遊技玉数 = 50 + 125) と、前記通信不能状態になる前の最終通信の際の前記到達確認情報と 前記 遊技用装置へ送信する補正情報送信手段 (図 51 : リカバリデータに補正の後の遊技玉数 = 175 を含めて CU へ送信する払出制御部 171) とを含み、

前記遊技用装置は、

前記更新情報を受信する更新情報受信手段 (通信制御 I C 325a) と、

前記表示手段 (表示器 54, 312, 510) を制御し、前記更新情報に基づいて前記得点の表示を更新する表示制御手段 (CU 制御部 323 と表示制御部 350) と、

前記補正情報送信手段から送信されてきた前記補正情報および前記到達確認情報を受信する補正情報受信手段 (図 51 : 補正の後の遊技玉数 = 175 を含むリカバリデータを P 台から受信する通信制御 I C 325a と CU 制御部 323) と、

前記通信不能状態から復旧した後に前記補正情報送信手段から送信されてきた前記補正情報および前記到達確認情報に基づいて前記表示手段に表示すべき得点を補正する得点補正手段 (図 51 : リカバリ応答を受信して遊技玉数 = 175 に補正する CU 制御部 323) とを含み、

前記表示制御手段は、前記通信不能状態から復旧した後、前記得点補正手段による補正後の得点を前記表示手段に表示 (遊技玉数 = 175 を表示器 54 に表示する) し、

前記遊技用装置は、前記記録媒体に記憶されている識別情報および前記記録媒体を受け付けた時刻を特定する時刻情報を記憶するとともに前記封入式遊技機に送信し、

前記封入式遊技機が、受信した識別情報および時刻情報を記憶し、

前記補正情報送信手段は、前記通信不能状態から復旧したときに、前記封入式遊技機に記憶されている識別情報および時刻情報を前記補正情報受信手段に送信し、

前記得点補正手段は、前記補正情報送信手段から送信された識別情報および時刻情報と当該遊技用装置が記憶している識別情報および時刻情報とが一致するときに、前記表示手段に表示すべき得点を補正する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記の構成によれば、通信不能状態が復旧した際、前記通信不能状態になる前の最終通信の際の前記到達確認情報とともに得点の補正情報が 封入式 遊技機から遊技用装置へ送信され、遊技用装置では、その補正情報および到達確認情報に基づいて、前記得点の表示が補正されるため、通信不能状態が復旧したときに、遊技用装置および 封入式 遊技機の双方で整合がとれた状態にすることができる。その結果、通信不能状態の発生に備えた強固な遊技用システムを提供できる。また、表示手段は遊技用装置で制御するため、封入式 遊技機の制御負担を軽減できる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

(2) 本発明の他の態様は、遊技媒体を循環させる循環経路を有し、所定の得点（遊技玉、遊技点）を用いて遊技が行なわれる封入式遊技機（パチンコ機2、スロットマシン2S）と通信可能に接続され、記録媒体を受け付け可能であるとともに当該記録媒体の記録情報により特定される遊技者所有の遊技用価値（プリペイド残高、持玉数、あるいは貯玉数）を用いて前記封入式遊技機での遊技を可能にするための遊技用装置（カードユニット3）であって、

前記得点の変化量を特定可能な更新情報を、当該更新情報の到達確認をするために所定の更新パターンに従って更新される到達確認情報（通番）とともに前記封入式遊技機から受信する更新情報受信手段（通信制御IC325a）と、

表示手段を制御し、前記更新情報に基づいて前記得点の表示を更新する表示制御手段（CU制御部323と表示制御部350）と、

前記封入式遊技機と前記遊技用装置との間での通信ができない通信不能状態から復旧したときに、前記得点の補正情報と、前記通信不能状態になる前の最終通信の際の前記到達確認情報とを前記封入式遊技機から受信する補正情報受信手段（図51：補正の後の遊技玉数=175を含むリカバリデータをP台から受信する通信制御IC325aとCU制御部323）と、

前記通信不能状態から復旧した後に前記封入式遊技機から送信されてきた前記補正情報および前記到達確認情報に基づいて前記表示手段に表示すべき得点を補正する得点補正手段（図51：リカバリ応答を受信して遊技玉数=175に補正するCU制御部323）とを含み、

前記表示制御手段は、前記通信不能状態から復旧した後、前記得点補正手段による補正後の得点を前記表示手段に表示（遊技玉数=175を表示器54に表示する）し、

前記記録媒体を受け付けた時刻を特定する時刻情報を記憶するとともに前記封入式遊技機に記憶させるために送信し、

前記補正情報受信手段は、前記通信不能状態から復旧したときに、前記封入式遊技機に記憶されている時刻情報を前記遊技用装置に受信して、

前記得点補正手段は、前記補正情報受信手段で受信された時刻情報と当該遊技用装置が記憶している時刻情報とが一致するときに、前記表示手段に表示すべき得点を補正する。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

上記の構成によれば、通信不能状態が復旧した際、前記通信不能状態になる前の最終通信の際の前記到達確認情報とともに得点の補正情報が封入式遊技機から遊技用装置へ送信され、遊技用装置では、その補正情報および到達確認情報に基づいて、前記得点の表示が補正されるため、通信不能状態が復旧したときに、遊技用装置および封入式遊技機の双方で整合がとれた状態にすることができる。その結果、通信不能状態の発生に備えた強固な遊技用システムを構築するための遊技用装置を提供できる。また、表示手段は遊技用装置で制御するため、封入式遊技機の制御負担を軽減できる。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

(3) 上記(1)の遊技用システムであって、

前記封入式遊技機は、

前記通信不能状態になる前に前記遊技用装置へ送信した前記更新情報を記憶する送信済更新情報記憶手段（図8の加算玉数、減算玉数、図151の加算数、減算数）と、

前記更新情報を記憶する更新情報記憶手段（図8の加算玉数カウンタ、減算玉数カウンタ、図151の加算数カウンタ）とを含み、

前記補正情報送信手段は、前記送信済更新情報記憶手段に記憶されている前記更新情報と前記更新情報記憶手段に記憶されている前記更新情報を送信する（図51：前回遊技台情報と最新遊技台情報を含むリカバリ応答を送信する）。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

上記の構成によれば、通信不能状態から復旧した後、遊技用装置において、前記送信済更新情報記憶手段および前記未送信更新情報記憶手段に記憶されている前記更新情報を受信できるため、通信不能状態直前に封入式遊技機から送信された更新情報が遊技用装置まで到達しなかった場合、および通信不能状態の発生によって封入式遊技機が更新情報を送信できなかった場合のいずれについても、通信不能状態からの復旧の際、表示手段への得点に反映させることができる。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

（4）上記（1）または（3）の遊技用システムであって、

前記遊技用装置は、

遊技者所有の遊技用価値を特定可能な記録媒体を受け付ける記録媒体受付手段（カードリーダライタ）と、

前記記録媒体受付手段で受け付けた前記記録媒体に記録された情報（カードID）を記憶する第1受付情報記憶手段（カードIDを記憶するCU制御部323）と、

前記記録媒体受付手段で受け付けた前記記録媒体に記録された情報を前記封入式遊技機へ送信する受付情報送信手段（図36：カードIDをP台へ送信するCU制御部323と通信制御IC325a）とを含み、

前記封入式遊技機は、前記受付情報送信手段から送信されてきた前記記録媒体に記録された情報を記憶する第2受付情報記憶手段（図36：カードIDをバックアップする払出手制御部171）を含み、

前記補正情報送信手段は、前記補正情報とともに前記第2受付情報記憶手段に記憶されている前記記録媒体に記録された情報を送信し（図51、図52：カードIDを含むリカバリデータをCUへ送信）、

前記得点補正手段は、前記補正情報送信手段から送信されてきた前記記録媒体に記録された情報が前記第1受付情報記憶手段に記憶されている前記記録媒体に記録された情報と一致するときに、前記表示手段に表示すべき得点を補正する（図51、図52：カードIDおよび挿入時刻が一致するときに遊技玉数=175に補正する）。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

上記の構成によれば、通信不能状態から復旧した後、遊技用装置側で記憶している記録媒体に記録された情報と、封入式遊技機側で記憶している記録媒体に記録された情報とが一致するときに得点の表示が補正されるため、通信不能状態の発生により中断した遊技が通信不能状態の復旧後に再開される場合を対象にして、得点の表示を補正することができる。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

上記の構成によれば、遊技用装置側でも得点が記憶されるため、封入式遊技機側と遊技用装置側とで一方の得点が万一消えてしまっても他方に得点が残っており、安全性が担保できる。しかも、遊技用装置側で得点の記憶が更新されると、その更新後の得点と封入式遊技機側で記憶している得点との一致判定が行なわれるため、遊技用装置と封入式遊技機との双方で記憶している得点が一致しない今まで運用が継続されてしまう不都合を防止できる。なお、不一致と判定されたときには、アラーム音を発生させたりあるいは警告表示を行なうなどの報知をすること、あるいは、これに加えて、または、これに代えて、双方の得点を一致させる処理を行なうことが考えられる。双方の得点を一致させる場合には、たとえば、遊技用装置側の得点を封入式遊技機側で記憶している得点に一致させるようにしてもよく、あるいは、逆に、封入式遊技機側の得点を遊技用装置側で記憶している得点に一致させるようにしてもよい。